

## 第6回鳥取市政懇話会「広域交流観光」部会議事概要

日 時：平成22年12月7日（火）14：00～14：30

場 所：鳥取市役所本庁舎6階第1会議室

出席者

【委員】池澤幸雄委員、太田義教委員、神部みゆき委員、  
佐々木ターミー委員、寺本光孝部会長、中西重康委員、山本徹委員  
吉田茅穂子副部会長

【鳥取市】田中観光コンベンション推進課長

【事務局】鹿田企画調整課長補佐

### 開 会

#### 部会長あいさつ

- ・ みなさんのご意見を集約し、意見提言書ができた。今回は提言書の発表に向けて、補足・修正があればご意見をいただきたい。

#### 意見交換

##### ○委員

- ・ 少し外れた話になるかもしれないが、鳥取道開通は手放しで喜べる内容になってないように感じる。トイレやガソリンスタンド、観光案内などの設備が整っていない。このツケがいずれ出てくるのではないか。
- ・ できればもっと踏み込んだ内容を審議していき、万人に納得いくものにしていきたい。

##### ○副部会長

- ・ トイレやガソリンスタンドの問題は、サービスエリア間の距離が長い他の道路にもいえることで、ドライバーがあらかじめ準備しておくことで解決できるのではないか。

##### ○委員

- ・ 一般的な高速道路と、鳥取道のような高規格道路とは意味、設備構造上も異なっているということを取り上げるべき。
- ・ はわいでは地元が意見をまとめ、陳情し、長い時間をかけて道の駅を作りあげた。こうした拠点施設を作ることで、地域に根ざした道路としていくべき。

- ・ そのためにも、早期の意見集約により、運動を起こせる土壌を作っていたほうが良いと考える。

○副部長

- ・ 時間も限られており、他の方の意見も取り上げたい。何かあればお願いしたい。

○委員

- ・ 山陰海岸ジオパークについてだが、ここでマラソンや駅伝などしてみたらどうか。
- ・ できれば泊りがけで行い、レースの山場となる区間にジオパークの最もいい場所を持っていきたい。
- ・ また、山陰本線をジオパークと絡めて活性化できないか。

◇田中観光コンベンション推進課長

- ・ 鳥取自動車道の利便施設については、何が不足しているか、何を整備していけばよいかという点について、既に市の担当部署や国交省などで検討が始まっていると聞いている。また、私自身サービスエリアのような施設は大事だと考えている。
- ・ ジオパーク駅伝はおもしろい発想だと思う。ただ、ジオパークは3府県をまたがるものであり、調整が難しい部分もあるかもしれない。

◇鹿田企画調整課長補佐

- ・ 委員のご意見について、110キロをつなぐという発想はウォーキングが唯一実現したところである。自転車ではどうか、など色々な話がある。働きかけを行い、実現ができるようにやっていきたい。
- ・ また、JRとの連携についても、県と一緒に取り組んでいるところ。JRを活かしての観光ということもやっていきたい。
- ・

◇田中観光コンベンション推進課長

- ・ JRが、浜坂より遠くまで、豊岡方面へ直接行くような普通列車を実験的に運行すると聞いている。特急列車の運行はまだ難しく、運動が必要である。

○委員

- ・ 全国の本線とつく鉄道の中で、山陰本線だけが整備が遅れている。JR西日本にもっと働きかけることが必要。
- ・ 加えて、先日でていた「散策したい温泉ランキング」で、城崎温泉が有名な草津などを抑え1位だった。こうした注目を利用し、周辺の温泉町もアピールしながら、城崎と連携していくようなことを行政にお願いしたい。

○部会長

- 貴重なご意見を頂いた。次に、川口委員からのご意見について確認をしたい。砂像フェスティバルの定着を、という内容となっている。これはお手元の意見提言書の項目を具体化されたようなご意見であり、本部会の意見という形にさせていただきたい。
- 意見が無ければこれにて本部会を終了とする。ありがとうございました。